

うらやす地域福祉活動計画V 第3回策定委員会議事要旨

1. 開催日時 令和7年1月10日(金) 午前10時00分～11時30分

2. 開催場所 東野パティオ通所棟 会議室1・2

3. 出席者

(委員)

坪井真委員、笠井和枝委員、大塚真理子委員、小平弓子委員、相原勇二委員、倉光幸司委員、進藤千恵美委員、松井隆委員、大場浩委員、川口英樹委員、宇田川道恵委員、和田千鶴子委員、榎本俊夫委員、永井通委員、岡部浩委員

(事務局)

小嶋常務理事、大塚事務局長、牧野次長、大西課長、若月課長、樽林課長、浅野センター長、青野センター長、寺師

4. 議題

- (1) うらやす地域福祉活動計画V素案について
- (2) パブリックコメントの実施について

5. 議事の概要

- (1) うらやす地域福祉活動計画V素案について
うらやす地域福祉活動計画V素案の概要を説明した。
- (2) パブリックコメントの実施について
パブリックコメントの実施概要を説明した。

6. 会議経過

(1) 協議

①うらやす地域福祉活動計画V素案について

うらやす地域福祉活動計画V素案の概要を説明した。

〈意見〉

委員長：コミュニティソーシャルワーカーという文言が、片仮名のコミュニティソーシャルワーカーという表記とCSWという表記が統一されていないので、統一した方がよい。

委員：47ページ施策の展開方向のところ、「住民が地域の様々なことを、『じぶんごと』として知ろう」という表現と、49ページ以降は「我が事」という表記になっているが、違う意味で使っているのか。もし同じような意味であれば、どちらかに統一した方がわかりやすいと思う。また、前回の委員会で委員長から指摘があった、アンケート調査の基本情報が載っていないので、対象者、回収方法など追記するとよい。その他の点は、おお

むね良い内容だと思う。

委員長：1つ目のご意見に関して、44ページの2番の基本目標（2）つながるの1行目にも「我が事」となっている。何か理由があって分けているのか、もし同じ意味で使っているのであれば、文言の統一をしたほうがよい。2つ目のアンケート調査の基本情報は、最後に資料編で付けるのであれば、きちんと示したほうがよい。

委員：33ページの下の方の「地域・団体」の中の①で、各項目の役割ごとの評価の①の4行目から5行目にかけて、「活動したい人の思いを受け止め、まずは一緒に活動するから始めて」の、この始めての漢字は違うと思う。あとは、36ページ「事業・企業」のところの2つ目の項目、「各項目の役割ごとの評価」の⑤「商工業の発展にボランティアは馴染まない」。ここだけアンダーラインが引いてあるのは、何か意図するところがあるのか。

委員長：誤字は訂正をお願いします。アンダーラインの理由について説明をお願いします。

事務局：アンダーラインについては特段意図はなく、消し忘れである。ご指摘ありがとうございます。

委員：去年の12月23日の市の策定委員会で用語の統一を決定したので、この資料は12月20日に送付されたもので、まだ反映されていないのだと思う。

委員：35ページの権利擁護の意識醸成でLGBTというワードが出ているが、一般向けにわかりやすくこの表記にすることならそれでもよいが、近年ではLGBTQ+という表現になっているので、市の計画との統一も考えて、最新の表現を使ってもよいと思う。

委員長：私も同じ意見である。

委員：前期の計画では、生活支援コーディネーターという形ができ、社協の活動が活発になったと思う。今回のCSWについては、具体的な事業の内容がわからないと達成のゴールが見えない。

②パブリックコメントの実施について

パブリックコメントの実施概要を説明。

〈意見〉

委員：資料2-1の提出方法について、浦安情報局でアナウンスしてはどうか。

委員：市民活動団体にもご案内するといいと思う。担い手としても期待できる。

委員：大賛成である。2月3日の会員クラブ会長の月例会議で案内してほしい。